

特別広告企画

日経ヘルスケア 医療・介護の経営情報

開業セミナー 2018 誌上レビュー



第一コンサルティング
法人代表
加藤 深雪氏

医院開業 成功へのヒント

医院経営を取り巻く環境が必ずしも良好とは言えない中、患者に選ばれることで成功をおさめている医院は多数存在する。新規開業においても、工夫次第で成功のチャンスは十分にある。だが、成功のポイントはどこにあるのか——。『日経ヘルスケア』は11月4日(大阪会場)、11月18日(東京会場)に新規開業を目指すドクターを対象とした「開業セミナー 2018」を開催。多様な分野の専門家が開業を成功に導く方法を解説した。



匠
代表
原田 裕士氏

協賛 三井ホーム/ビー・エム・エル/フクダ電子/メドレー

明確な開業目的を立て 十分な準備を行いたい

医療コンサルタントとして、350件以上の医院開業を手がけてきた経営コンサルティング会社 匠 TAKUMIの代表取締役 原田 裕士氏は「開業の魅力とリスクー 最高の開業を目指して」と題した講演を行った。

原田氏は、開業には大きな魅力があるとともに、さまざまなリスクが潜んでいると指摘する。

「魅力ばかりに目が行き、計画を度外視して熱くなりすぎてしまう危険があります。しかし、リスクを怖がって開業をあきらめてしまうのも残念です」

開業の魅力として長期間、高収入の確保が可能、自分の城を持ち、何事も自分で決め自分で実行する醍醐味が

味わえる点を挙げた。一方、リスクは魅力と表裏一体であり、医療だけではなく経営の責任も事業主として負わなければならない点、職員や患者とのトラブルにも自分で対処しなければならない点などを挙げた。

「大切なのは、自分にとっての魅力とリスクを冷静に分析し、明確な開業目的、無理のない事業計画を立てることです。地域の患者さんから感謝の言葉をいただける喜びは何ものにも代えがたい。ぜひ、専門家の意見を参考に十分な準備を行い、夢を実現させていただきたい」と締めくくった。

職員採用のミスマッチと トラブルをいかに防ぐか

社会保険労務士法人 第一コンサルティング 法人代表の加藤 深雪氏は

「労務管理イロハのイ」という講演で、職員採用時の注意点やトラブルを防止する方法などを解説した。

採用のポイントはミスマッチを防ぐため、自院の経営理念を適切な媒体で明確にアピールし、書類選考でできるだけ絞り込むこと。さらに面接では「求めない人材」を基準に行うといいとアドバイス。

次に公的保険への加入や労働基準法の適用などについて解説。トラブルに発展しやすい解雇においては「紛争に備えて、業務改善指示書(イエローカード)で繰り返し改善を指導した証拠を残してください」と話した。

開業セミナーでは医院建築、電子カルテ、診療圏調査、オンライン診療の専門家が講演を行った。その内容をレビューする。